

もりもり食べて、感謝の気持ちをもって、「食」への関心を高く

～中学校給食が開始しました～

「給食が教室に届くまでにたくさんの人の協力があります。感謝の気持ちを忘れずにいただきましょう。」

給食開始の前日、そうしたメッセージとともに、生徒会が制作した調理場の様子を写した動画を見たり、献立表を見てわくわくする様子が見られたりしました。そしていよいよ、9月2日(木)から給食が始まりました。



校内で調理された、温かくておいしい、そして栄養バランスも良い給食をいただき、たくさんの笑顔が見られます。初日は相当な時間がかかった準備も、日ごとに手際よく進めています。

給食の用意はみんなが協力して早くできていたし、食べているし、食べているときにお料理を作っている映像が流されて、本当にたくさんのひとの思いと力が給食に込められているんだな、と思って、感謝して食べようと思いました。(3年生学級日誌より)

栄養教諭や栄養士が、各学級をまわって、その日の食材や献立について説明しています。また、調理している様子を動画で紹介したりもしています。

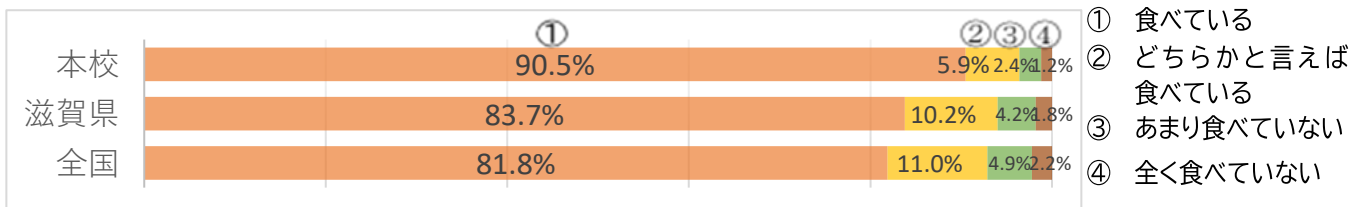


この機会に、…食生活を考えてみましょう！

学校給食では、成長期にある皆さんの健康を保ち、よりよく成長できるよう、守山市の栄養教諭の先生や栄養士の方が栄養バランスを考えた献立を作っています。でも、残りの2/3は家庭での食事となります。子どもの頃に身に付いた食習慣は生きていくうえでの土台となるので、大人になってから改めることはとても困難です。

好き嫌いをせずに栄養バランスよく食べること、また、家の人に頼ってばかりでなく自分で工夫して作ったりしてみることは、将来たくましく生きていく自分へとつながっていくのです。

Q「朝食は毎日食べていますか。」 (R3 全国学力・学習状況調査より)



情報との関わり方

あふれる情報から何が正しいのかを見極めて、責任をもってコミュニケーションをとることは、難しいけれど大切なことです。

そんなことに着目して、自分の考えをまとめた作文を紹介します。

情報との関わり方（2年生生徒の作文より）

間違っただ知識や見方で外国や物事を見ていないだろうか。また、その間違っただ知識を第三者に与えていないだろうか。（中略）

差別が生まれる要因の一つに正しい情報を知らないことが挙げられる。協力して立ち向かわなければならないと思っただいても、間違っただ知識、偏っただ見方に振り回されてはできない。

世界中すべての人の、間違っただ知識をなおしたり、偏っただ見方を変えることは難しい。しかし、それを第三者に伝えたり、誰かを攻撃する道具として使ったりすることはなくしていかななければならない。外国には自分の知らない面がたくさんある。それは、外国への見方に限ったことではなく、人や様々な物事に共通して言えることである。自分の見聞きしたことがすべてではないという意識を持ち、視野を広く持つこと。そして、情報を発信する側とそれを受け取る側、両者とも責任を持つことが大切である。それが本当に正しい情報なのか、それとも誤っただ情報なのか見極めるのは一人ひとりである。特に、これからの世界を担う私たちは、誤っただ情報に踊らされてはいけない。（後略）

（第2学年生徒作文～中学生広場「私の思い2021」守山大会優秀賞受賞～より）



ちょっと心温まるお話

☆多 生徒会「花エール」の取り組みで、玄関前や校門前にプランターが置かれて、きれいな花で彩られています。それも、環境委員の生徒たちが水やりをしているおかげです。特に環境委員長は、責任感をもって、毎朝のように、プランターの土の乾き具合や花の様子を確かめて、率先して花の水やりをしています。本当にありがとう。

☆多 ある地域の方から、守南生で下校途中にゴミ拾いをしている生徒を見かけたとの連絡を受けました。気が付いてもなかなか実行に移すことができないものです。本当に素晴らしいですね。



「暑中見舞い」3年生生徒の作品